



PRESS RELEASE (2022/12/02)

『天神アートプロジェクト』開催

～天神都心部のビルの空き区画が、未来のクリエイター達による“アート空間”に！～

芸術工学研究院 齋藤俊文研究室と、福岡市・天神エリアの街づくりを推進する「天神明治通り街づくり協議会(MDC)」が協働し、『天神アートプロジェクト』を開催します。

本プロジェクトは、福岡市の都心部である明治通りにあるオフィスビル「福岡天神センタービル」1階の空き区画をアート空間に転用するものです。以前は銀行が入居していた区画であったストーリー性に注目して、芸術工学を専攻する大学院生・学部生の企画による唯一無二の世界観を演出します。さらに、天神地区は古くは武家屋敷が集積するエリアであったことから、武家社会の頃に始まった礼法である「折形(おりがた)」をテーマに、来場者が気軽に楽しく参加できる折形体験ブースも設けます。

「天神明治通り街づくり協議会(MDC)」による天神中心部におけるオープンスペースの将来的な有効活用を見据えた実証実験イベント「天神明治通りテラス」の第2弾となります。

“天神ビッグバン”に伴う建替えが相次ぐなど、まちの大転換期を迎える天神地区。今回の実証実験が、天神都心部への将来的なアート要素導入のプロトタイプ的な位置づけとなり、学生と来街者・就業者の交流、新たな文化の発信につながることを目指しています。

『天神アートプロジェクト』概要

■開催日時：2022年12月5日(月)～12月16日(金)

※平日のみの開催、各日とも第1部/12時～15時、第2部/17時～20時

■場 所：福岡天神センタービル1階区画（[福岡市中央区天神2丁目14-8](#)）
〔銀行跡、約350坪〕

■主 催：齋藤俊文研究室(九州大学大学院芸術工学研究院)、天神明治通り街づくり協議会(MDC)

■協 力：野村不動産(株)、野村プロパティーズ(株)、(株)竹中工務店、We Love 天神協議会、(株)齋藤事務所、九州大学総合研究博物館、福岡県立美術館、(株)インキューブ西鉄

■入 場 料：無料

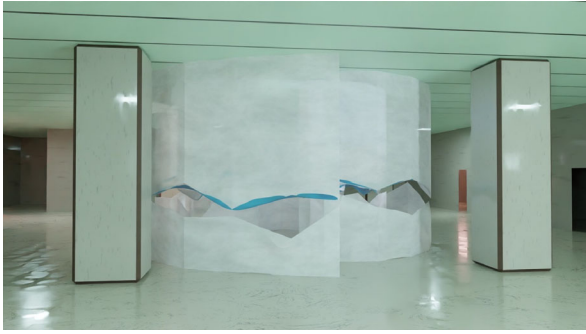
■今回のコンセプトについて

絶えず移りゆく天神の中で過ごす来街者や就業者が、本展示会場の土地の持つ歴史の文脈から着想を得た「折る・重ねる」という行為を通じて、「ありのままに立ち返る、街と自分との関係性を捉えなおす」きっかけとなる空間づくりを、10点の企画展示から総合的にアプローチしたいと考えています。(齋藤俊文研究室)

【報道関係者向け内覧会のご案内】

開催日の初日に報道関係者向けの内覧会を開催いたしますので、是非取材いただけますようお願いいたします。

- ・ 日時：2022年12月5日(月) 13時30分～15時00分
- ・ 内覧会についての事前申込・お問い合わせ：
西日本鉄道株式会社 広報・CS 推進部広報課（担当：野口・吉田）
TEL：092-734-1383 Mail：yoshida.sh@nnr.co.jp



中央展示「渦(うず)」

銀行跡の空間を活かし、「ありのままにしていること」をモチーフとした展示。鑑賞者は移動することで、視界がダイナミックに変化する様子を体験します。長い歴史を通じて、福岡、天神という場所に止むことなくエネルギーを与えてきた「海」の波を意識し、寛大さや安心感を演出します。

展示「マグミー」

銀行に設置されていた鉄格子の特性を利用した作品。鉄格子の中心に配置された方位磁針は、モーターによって制御されており、さまざまな方位を指し続けています。モニターには、鉄格子内をリアルタイムで撮影した映像が映し出されています。影の様な物の蠢き(うごめき)が確認でき、絶えず空間に“存在”を表現します。



展示「天神サロン」

九大博物館から借用した什器を設置し、昭和通りが見える大きな窓を前に、誰もが一息つける場づくりを行います。さらに参加者同士の交流、会話を喚起するためのコンテンツを展示します。



天神アートプロジェクト

天神アートプロジェクトロゴマークについて

2020年に閉館した天神コアのロゴ(デザイン:福田繁雄氏)を彷彿とさせる「天」の文字から、Artの「A」が浮かびあがります。それは未来への道筋を示すパースペクティブ(遠近法・眺望)であり、神社の鳥居のようにも見えます。

(c) Toshifumi Saito Laboratory, Kyushu University Faculty of Design

■齋藤俊文研究室(九州大学大学院芸術工学研究院 人間生活デザイン部門)

場に応じた豊かなコミュニケーションの醸成を目的として、多様な専門分野、得意分野を持つ学生たちが集まりアートコレクティブを結成。企画・デザインから制作・社会実装までを行っています。オーディエンスの“気づき”を誘う新しいコミュニケーション表現、ユニークなメディアデザインをつねに求めています。齋藤俊文はクリエイティブディレクターとして、文化庁「文化力」プロジェクト、TOKYO GUNDAM PROJECT、GUNDAM FACTORY YOKOHAMA、NHK 爆問学問、宮若国際芸術トリエンナーレ他、社会・文化・教養に関わる数多くのコミュニケーションを手掛けています。

九州・沖縄から



POWER OF CULTURE

■天神明治通り街づくり協議会 <http://www.tenjin-mdc.org>

天神明治通り地区(約17ヘクタール)における老朽建物の建替え推進を目的として2008年に発足した地権者組織です。“アジアで最も創造的なビジネス街”の実現に向け、地区の将来像を描いた「天神明治通りグランドデザイン」に沿った街づくりを推進しています。